

環境経営レポート2025

対象期間：2025年4月～2026年3月



エムテックスマツムラ株式会社 2026年 6月 22日

1. 組織の概要

1-1. 会社概要

(1) 名称及び代表者名

◆ エムテックスマツムラ株式会社 代表取締役社長 松村 超一郎

(2) 所在地

◆ 本社／天童事業所 山形県天童市北久野本1-7-43

◆ 尾花沢事業所 山形県尾花沢市北町2-2-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

◆ 責任者 人事総務部 部長 里見 幸久

◆ 担当者 人事総務部 副部長 奈良崎 茂文 TEL:023-654-3211

(4) 事業内容

◆ 天童事業所 ・電子機器装置の開発・設計と製造・販売

◆ 尾花沢事業所 ・半導体デバイスの後工程製造
・中空プラスチックパッケージの設計、販売
(製造:株)新庄エレメックス)

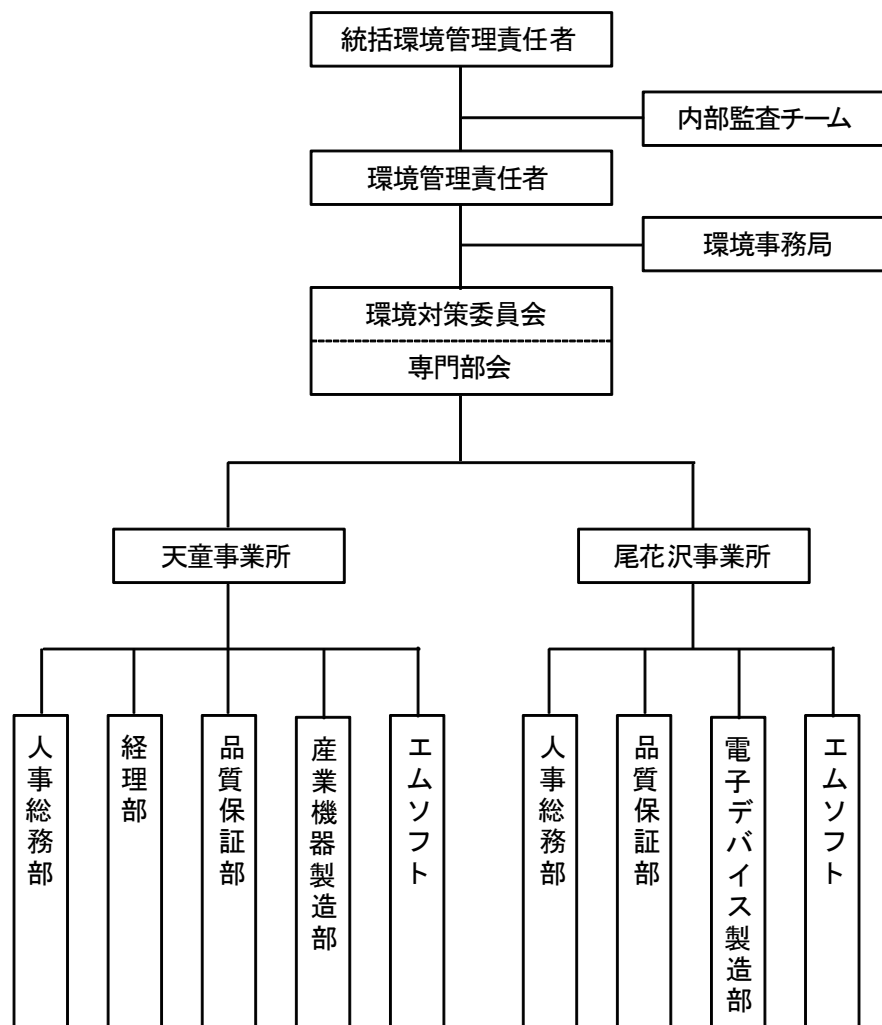
(5) 事業の規模

2025年度	単位	天童	尾花沢	合計
売上高	百万円	1,430	13,980	15,410
従業員	人	87	113	200
延べ床面積	m2	6,300	8,500	14,800

(6) 事業年度 5月～4月 (環境活動年度: 4月～3月)

1-2. 認証・登録の対象組織 ◆エムテックスマツムラ(株) 上記1-1.(2)に同じ

1-3. 実施体制



【役割、責任及び権限】

No.	区分	役割・責任・権限
1	統括環境管理責任者	1) 環境経営に関する統括責任 2) 環境経営システムの実施及び管理に必要な経営資源の準備 3) 環境管理責任者の任命 4) 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 5) 環境目標設定の承認 6) 代表者による全体の評価と見直しの実施 7) 環境活動レポートの承認
2	環境管理責任者	1) 環境経営システムの構築、実施、管理 2) 環境関連法規等の取りまとめ表の承認 3) 環境目標設定の審査 4) 環境活動の取組結果の統括環境管理責任者への報告 5) 環境活動レポートの確認及び地域事務局への送付
3	内部監査チーム	1) 環境に関する内部監査の実施・報告
4	環境対策委員会	1) 環境経営システムの討議及び提案・見直しの審議 2) 環境マネジメントプログラムの審議 3) 環境活動実績の確認・評価 4) 利害関係者等からの情報交換と対応策の審議
5	専門部会	1) 専門的事柄についての全社活動の推進 2) 環境対策委員会からの諮問事項への答申
6	環境事務局	1) 環境対策委員会の事務局 2) 環境管理責任者の補佐 3) 外部・内部監査の運営事務局 4) 環境関連法規及びその他の要求事項の入手と管理 5) 環境目標の原案作成 6) 環境活動実績の集計、全社取り纏め 7) 環境コミュニケーションの窓口 8) 環境活動レポートの作成

2. 環境経営方針

環境経営方針

エムテックスマツムラ株式会社は、半導体製造装置、金型、半導体デバイス生産において「地球環境問題は人類共通の課題である」との認識にもとづいて、企業として環境対策を経営の重要課題と位置づけし、地域社会と融和を図り、社員の主体性と啓発を通じて全従業員参加で、環境負荷の継続的な改善活動と汚染の予防を推進し、健全な地球環境の保全と豊かで快適な社会の実現に貢献します。

1. 当社の事業活動における環境負荷を低減するとともに、環境負荷にかかる経費の削減を行い経営の合理化と企業イメージの向上をはかり、企業の永続を目的に以下の項目を重点テーマとして取り組みます。
 - ①地球温暖化防止(二酸化炭素排出量の削減)
 - ②廃棄物の削減(ゼロエMISSIONの維持)
 - ③水使用量の削減
 - ④化学物質の削減と適正管理
 - ⑤装置製品への環境配慮
2. 国・地方自治体が定める環境関連法規制およびその他の要求事項を遵守します。
3. 責任と権限を明確にした環境経営システムを構築し、継続的改善を行います。
4. 全従業員に対して環境教育を行い、環境経営システムの周知徹底と環境意識の向上に努めます。
5. 環境経営方針は、全従業員に周知し、社外からの要求に対し開示します。

2014年4月1日制定

2024年4月1日改訂

エムテックスマツムラ株式会社

取締役 吉村 幸樹

3. 主な環境負荷の過去3年間の実績

項 目	単位	区分	2023年度	2024年度		2025年度	
			実績値	実績値	前年比	実績値	前年比
CO2総排出量	kg-CO2/年	天童	637,756	541,923	85.0%	470,025	86.7%
		尾花沢	5,692,604	5,262,355	92.4%	4,159,058	79.0%
		全社	6,330,360	5,804,278	91.7%	4,629,083	79.8%
	購入電力	天童	625,321	529,563	84.7%	459,725	86.8%
		尾花沢	5,497,252	5,033,611	91.6%	3,974,961	79.0%
		全社	6,122,573	5,563,174	90.9%	4,434,686	79.7%
	化石燃料	天童	12,434	12,360	99.4%	10,300	83.3%
		尾花沢	195,352	228,744	117.1%	184,097	80.5%
		全社	207,786	241,104	116.0%	194,397	80.6%
廃棄物排出量	kg/年	天童	13,779	14,463	105.0%	10,362	71.6%
		尾花沢	74,740	86,519	115.8%	83,080	96.0%
		全社	88,519	100,982	114.1%	93,442	92.5%
	一般廃棄物排出量	天童	5,709	6,498	113.8%	5,384	82.9%
		尾花沢	12,766	13,700	107.3%	14,143	103.2%
		全社	18,475	20,198	109.3%	19,527	96.7%
	産業廃棄物排出量	天童	8,070	7,965	98.7%	4,978	62.5%
		尾花沢	61,974	72,819	117.5%	68,937	94.7%
		全社	70,044	80,784	115.3%	73,915	91.5%
水使用量	m ³ /年	天童	1,234	1,093	88.6%	1,100	100.6%
		尾花沢	90,542	110,418	122.0%	109,164	98.9%
		全社	91,776	111,511	121.5%	110,264	98.9%
化学物質使用量	kg/年	天童	—	—	—	—	—
		尾花沢	1,291	1,858	143.9%	1,754	94.4%
		全社	1,291	1,858	143.9%	1,754	94.4%

※CO2排出量は、東北電力HP公表2024年度の温対法実績報告に用いるCO2排出係数0.421 kg-CO2/kWhにより算出

4. 環境目標と実績

環境方針 (キーワード)	環境目標項目	管理指標		2025年度		2026年度	2027年度
				目標	実績	目標	目標
地球温暖化防止 (CO2排出量の削減)	エネルギー使用量加工 高原単位の削減 (結果系目標項目)	エネルギー使用量加工高原単位【基準年度】:2021年度 《実績》0.8130 (kl/M¥) (天):0.4052、(尾):0.9279	目標水準	基準年度実績比4%削減		基準年度実績 比5%削減	基準年度実績 比6%削減
			天童	0.3890	0.4349	0.3849	0.3809
			尾花沢	0.8908	0.7380	0.8815	0.8722
	電力消費量の削減 (手段系目標項目)	電力削減量 (MWh/月)	全社	0.7804	0.6889	0.7723	0.7642
			天童	1.3	2.3	1.3	1.3
			尾花沢	10.1	20.7	10.2	10.3
			全社	11.4	23.0	11.5	11.6
	廃棄物の削減 ゼロエミッションの維持	リサイクル率 (%) [ゼロエミッション(99%以上)の維持]	天童	99.0	100.0	99.0	99.0
			尾花沢	99.0	99.7	99.0	99.0
			全社	99.0	99.7	99.0	99.0
節水	水使用量の削減	水使用量 【基準年度】:実績 (天)事業所トータル使用量 2021年度:119m ³ /月 (尾):ウエハー1枚当たりの水使用量 2021年度:0.98m ³ /枚	目標水準	基準年度実績レベルの維持			
			天童 (絶対量)	119	92	119	119
			尾花沢 (原単位)	1.20(m ³ /枚)	0.80	1.20	1.20
			備考	※主力品増産により目標見直し(2024年～)			
化学物質 の適正管理	PRTR法対象管理指定 化学物質の適正管理	管理指定化学物質使用量 (kg/年)	メチルナフレン	—	574	PRTR法対象の社内管理指定化学物質の 適正使用、適正管理 (期首・期末在庫量、 購入量、排出・移動量、届出の遵守)	
			鉛	—	1,180		
			合計	—	1,754		
製品への 環境配慮	製品への環境配慮	環境配慮テーマ完結件数	目標	1件	1件	1件	1件
			備考	簡易図面を使った図面設計			

※ゼロエミッションの社内定義は、年間のリサイクル率98.0%以上としています。

5. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

達成状況: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

拠点	主な取組み計画	達成状況	取組み結果	次年度の取組み内容
	CO2排出量加工高原単位の削減(電力消費量の削減)			
天童	・照明のLED化による省エネ ・第一工場内の間仕切りによる空調稼働数の削減 ・第二工場よしず設置による空調費削減 ・開発棟1, 2階の電力削減(定期的な省エネ活動実施)	◎	(天)関係、エネ活(省エネ活動)で知恵を出し合い小さな改善を積み重ね電力消費削減に努めた。(尾)関係、空調機を省エネタイプに更新、レイアウト見直しに合わせ空調機1台を停止の効果大。また両事業所で照明のLED化を継続実施中。結果として(天)(尾)とも電力削減量は目標を達成。全体では目標11.4MWh/月に対し実績23.0MWh/月と大きく目標を達成できた。	エアコン室外機等に遮熱塗装および日よけ設置による電力削減。高地水槽用揚水ポンプ撤去での電力削減。「照明のLED化」継続。エアコン設定温度の管理などエネ活の継続による電力削減。
尾花沢	・コンプレッサー工場間分離評価及び調整による電力削減 ・第5工場 空調機更新(1台) ・第5工場2Fレイアウト変更に伴う空調機停止(1台) ・製造フロアのLED化(非常灯への展開含む)	◎	エネルギー使用量加工高原単位も、目標0.7804kl/M¥に対し実績0.6889kl/M¥と大きく目標達成となった。	「空調機更新」、生産変動に伴う設備停止。ボイラー燃料転換(A重油→LPガス)による電力およびCO2削減。「照明LED化」の継続等に取り組む。
全社	ゼロエMISSIONの維持		天童事業所ではリサイクル率100%を達成。	
	・排出状況とリサイクル率のモニター及び環境パトロールによる維持管理	◎	全社としてもリサイクル率99.0%目標に対し99.7%と目標を達成することができた。	維持管理を継続する。
	水使用量の削減			
天童	・前年施策の維持管理(過去の月毎実績と照合し異常検出時原因調査)	◎	水使用量目標119m ³ /月に対し、実績92m ³ /月と目標を達成することができた。	維持管理を継続する。
尾花沢	・前年施策の維持管理(過去の月毎実績と照合し異常検出時原因調査)	◎	ウエー1枚当たりの水使用目標1.20m ³ /枚に対し、0.80m ³ /枚と目標を達成することができた。	維持管理を継続する。
尾花沢	PRTR法対象管理指定化学物質の適正管理			
	・指定化学物質使用量管理	○	規定に従い使用量管理を実施した。 ・メチルナフレン574kg/年 ・鉛1,180kg/年	運用管理を継続する。 5月よりA重油(メチルナフレン)廃止
天童	製品への環境配慮			
	・簡易図面を使った図面設計	○	条件を満たす設計案件が少なかった中、該当する案件は積極的に簡易図面を適用できた。	製品環境配慮テーマを選定し取り組む。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

◆当社に関する環境関連法規等の遵守状況は以下の通りであり、昨年1年間('25年4月～'26年3月)で法令違反等はありませんでした。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
水質汚濁防止法	規制基準の遵守。事故発生時、状況及び講じた措置の概要を県知事に届け出る	○
浄化槽法	設置届出、保守点検・清掃、法定検査の実施	○
水道法	受水槽の清掃、定期水質検査の実施	○
土壤汚染対策法	土壤測定、土地利用状況報告、形質の変更届出、土地の利用方法変更届出	○
廃棄物処理法	委託業者との委託契約、マニフェストの交付と管理、廃棄物の適正保管等	○
毒物及び劇物取締法	盗難・漏洩防止処置(施錠管理、容器表示、置場表示など)	○
PRTR法	指定化学物質の移動量を把握し、一定基準以上であれば届出	○
高圧ガス保安法	特定貯蔵所の設置届出、位置・構造等の変更の場合の届出	○
消防法	危険物施設の設置許可、危険物保安監督者の選任・届出、少量危険物貯蔵の届出など	○
工場立地法	敷地・生産施設・緑地・環境施設等の面積が変更となる場合の届出	○
省エネルギー法	中長期計画書・定期報告書の提出、エネルギー管理統括者・管理企画推進者の選任など	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品の機器の点検、整備時におけるフロン類の充填・回収委託など	○
騒音規制法	特定施設の届出、規制基準の遵守	○
振動規制法	特定施設の届出、規制基準の遵守	○

7. 代表者による全体評価と見直しの記録

環境管理責任者の報告及び改善への提案				代表者(統括環境管理責任者)による見直し																													
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規制等の遵守状況(遵法性定期評価表による) ・'26年4月20日に定期評価を実施した結果、遵守されている。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・特になし。 ③内部監査の結果 ・'26年3月に内部監査を実施。監査の結果、2件の指摘事項があったが、フォローアップ監査により2件とも是正処置内容を確認しクローズしている。 ④前回の代表者の指示事項への対応 ・両事業所にて工場内のレイアウト変更を計画し、それに合わせ不要な空調機の停止。また遮光など細かな改善の積み重ね、目標達成に向け取り組むことと指示があった。25年度は各事業所とも定期的に省エネ活動を開催し、色々な知恵を出し合い工夫しながら改善に取り組んだ。投資が必要な計画の一部で対応が停滞したものもあるが、最低限必要な老朽設備の更新は計画的に実施し電力消費量の削減に大きく貢献した。両事業所とも知恵を絞り改善に取り組んだ結果、目標達成することができた。 <改善への提案> ・特になし。				[環境方針] 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 ・現状の環境方針を継続する。																													
[目標・環境活動計画の達成状況] <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>活動計画 実施状況</th> <th>コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エネルギー使用量加工高原単位</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標達成率113%。(尾)改善の効果が大きかった。</td> </tr> <tr> <td>電力削減量</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標達成率202%。エアコン稼働率調整や空調機更新等による効果大。</td> </tr> <tr> <td>リサイクル率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標達成。環境パトロールによる監視の強化。</td> </tr> <tr> <td>水使用量</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>(天)(尾)両事業所共に目標達成。</td> </tr> <tr> <td>指定化学物質管理</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>PRTR法対象化学物質の適正使用、適正管理と取扱量把握実施。</td> </tr> <tr> <td>製品への環境配慮</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>簡易図面を使った図面設計を意識し図枚数の削減を図った。</td> </tr> </tbody> </table> <改善への提案> ・現在の環境目標中期計画の内容で、管理指標その他で現状と大きな乖離が見られないことから、今年度も同じ項目で取り組む。ただし、年度途中でも状況に応じ改善を図るようにしていく。				目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	エネルギー使用量加工高原単位	○	○	目標達成率113%。(尾)改善の効果が大きかった。	電力削減量	○	○	目標達成率202%。エアコン稼働率調整や空調機更新等による効果大。	リサイクル率	○	○	目標達成。環境パトロールによる監視の強化。	水使用量	○	○	(天)(尾)両事業所共に目標達成。	指定化学物質管理	—	○	PRTR法対象化学物質の適正使用、適正管理と取扱量把握実施。	製品への環境配慮	○	○	簡易図面を使った図面設計を意識し図枚数の削減を図った。	[目標・活動計画] 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 ・'26年度の環境目標は、3月31日付け制定した全社環境目標設定表の内容を適用する。 ・活動を実施していく中で、管理指標その他で現状との乖離や不合理が生じた場合は、管理のサイクルをきちんと回し是正のアクションをとること。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)																														
エネルギー使用量加工高原単位	○	○	目標達成率113%。(尾)改善の効果が大きかった。																														
電力削減量	○	○	目標達成率202%。エアコン稼働率調整や空調機更新等による効果大。																														
リサイクル率	○	○	目標達成。環境パトロールによる監視の強化。																														
水使用量	○	○	(天)(尾)両事業所共に目標達成。																														
指定化学物質管理	—	○	PRTR法対象化学物質の適正使用、適正管理と取扱量把握実施。																														
製品への環境配慮	○	○	簡易図面を使った図面設計を意識し図枚数の削減を図った。																														
[その他] 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 ・特になし。				[総括] 25年度、両事業所とも目標に掲げた施策の対応により電力消費量は目標の数値を達成することができた。ただし、(天)は受注量に左右されるところが大きく原単位で未達となった月もあったが、来年度も加工高原単位1%削減を目標に掲げ活動していく。 環境活動には企業の社会的責任と経費削減の2つ側面がある。社会的責任を守る活動の一環として、燃料ガス化によるCO2削減といった取り組みも抜かりなく進めていきたい。また、同じ電力削減に対し各事業所それぞれ施策が異なるため、結果を共有し効果のある施策は横展開するなどし、26年度も各事業所これまで以上に知恵を出し合い情報共有しながら改善に努めること。																													
[周囲の変化の状況] ①外部コミュニケーション記録より ・外部からの環境に関する苦情や要望ではないが、'25年4月末に重油流出によって近隣住民の皆様、行政・関係省庁、社員へ多大なるご迷惑とご心配をお掛けした。発生後すぐに処置、再発防止を展開し、最終的に'26年4月に重油⇒LPガスに燃料転換済み。5月中に敷地内の重油全撤廃予定。 ②環境関連法規制等の動向他 ・【消防法】9条の3 液化石油ガス取り扱い開始に関する項目を一覧表へ反映させる。 ・【水質汚濁防止法】14条の2に該当する事故発生に関し備考欄に反映させる。 <改善への提案> ・特になし																																	